



公式観光ガイド 2026

ボー・ル・ヴィコンテ城

マンシー・～から 18€

<https://chateau-ylvvisit-tickets.com/ja/>・優先入場チケット & 公式料金



歴史 & エクスperiences

起源と歴史

フーケの夢と太陽王の影

GOOGLE **4.6** ★★★★★ 14 232 レビュー

TIQETS **4.7** ★★★★★ 537 レビュー

1658年から1661年にかけて、ニコラ・フーケの野望はわずか3年で現実のものとなりました。この驚異的な速度で建設された城は、ルイ14世の財務総監であるニコラ・フーケが、当時の最高峰の芸術家たちを集めた結果です。建築家のル・ヴォー、画家のル・ブラン、庭園設計者のル・ノートルという三人の天才が結集し、フランス古典主義建築の金字塔を築き上げました。**1661年**の開業祝賀会は空前絶後の豪華さでしたが、その直後にフーケは国王によって逮捕され、領地は没収されました。

この城の運命は、単なる私邸から国家の象徴へと劇的に変化しました。感銘を受けたルイ14世は、同じ芸術家 trio をヴェルサイユ宮殿の建設に起用し、ボー＝ル・ヴィコンテ城はその直接的なモデルとなりました。これは建築史上において、ある城が別の象徴的な城に影響を与えた稀な例の一つです。ヴェルサイユ宮殿の原型として、この城は太陽王の権威を示すための藍本となり、フランス建築史における転換点となりました。

しかし、城は歴史の闇に消えることはありませんでした。1875年、アルフレッド・ソミエによって購入されて以来、この敷地はフランスで歴史的建造物として登録されている最大の私有地となっています。ソミエとその子孫たちは、解体の危機から城を守り、模範的な修復を行いました。ソミエ家の尽力により、城、庭園、装飾を含む敷地全体が保存され、グランド・シエクルの真実味が現代まで保証されています。

今日、ボー＝ル・ヴィコンテ城は年間800万ユーロの予算と75人の正社員によって維持管理されており、毎年30万人以上の来場者を迎えています。これは単なる観光地ではなく、フランスにおける主要な文化施設としての役割を果たしています。**30万人**という数字は、この場所が持つ文化的価値と、人々が過去に触れたいとする強い欲求を示しています。城は静かに、しかし力強く、17世紀の栄光と悲劇を語り続けています。

体験

門を通り抜けると、まず目に飛び込んでくるのはアンドレ・ル・ノートルが設計した壮大な庭園です。幾何学的に整えられた花壇と、遠くまで伸びる大運河は、視覚的な錯覚を作り出し、訪れる者を瞬時にグランド・シエクルの世界へ引き込みます。朝日が差し込むと、水面は金色に輝き、石造りの歩道は影を落とし、空間に深みと神秘性を与えます。風が木々を揺らす音と、鳥の声だけが聞こえる静寂の中で、時間の流れが止まったかのような感覚を味わうことができます。

城内に入ると、ル・ヴォーの洗練された建築とル・ブランの華麗な装飾が息を呑む美しさで迎えてくれます。大理石の床が光を反射し、天井画は神話的な物語を描き、各部屋はかつての祝宴の華やかさを彷彿とさせます。大理石の廊下を歩く足音は、過去の貴族たちの会話や音楽のエコーのように響きます。窓から眺める庭園の景色は、室内の豪華さと調和し、自然と人工が完璧に融合した空間を体験させます。ここでの一瞬は、単なる見学を超え、歴史への没入となるでしょう。



訪問の準備

実用的な情報

住所

セーヌ＝エ＝マルヌ県 マンシー市・メトロ：フォンテーヌブロー - アボン駅（RER C線、駅から徒歩30分またはバス137号線で10分）

営業時間

毎日10:00～17:30開園。特に特別イベントがある場合は、訪問前に公式サイトでご確認ください。

料金

大人は18.00€より。6～17歳の子供は10.00€。6歳未満は無料。団体割引や優待料金は要相談。

所要時間

城と庭園の完全な見学には2～3時間を計画してください。特別イベントを含む場合です。キャンドルナイトは4時間までかかることがあります。

写真撮影

敷地内全域での個人写真撮影は許可されています。城内ではフラッシュと三脚の使用は禁止されています。商業目的の写真撮影には事前の許可が必要です。

対象客層

家族連れ、カップル、歴史や建築愛好家に最適。6歳以上のお子様にも対応しています。マンシーへの訪問前に、公式サイトの実務的な条件をご確認ください。

LOCALISATION

Où se trouve ボー・ル・ヴィコンテ城？



📍 77950 Maincy – 77950 マンシー

🌐 48°33.949' N, 2°42.848' E



組織

城と庭園の見学ルート

庭園とアプローチ (レベル 0)

訪問者はまず、アンドレ・ル・ノートルが設計した広大な庭園に入ります。入口から続く長いアプローチは、視覚的な透視図法を用いて城への期待感を高めます。大運河沿いを歩きながら、水鏡効果による空の反射を楽しむことができます。花壇の幾何学的な配置と、戦略的に配置された彫像が、訪れる者をゆっくりと城へと導きます。

城内 1階 (サロンとギャラリー)

城内に入ると、ル・ヴォーの設計による大理石の階段ホールが印象的です。1階には、ル・ブランが手がけた豪華なサロンが並び、天井画や壁面装飾が神話や英雄譚を描いています。特に「アポロの間」や「戦勝の間」は、太陽王へのオマージュとして描かれた作品が多く、政治的なメッセージを含んでいます。各部屋は相互につながっており、連続した叙事詩的な体験を提供します。

城内 2階 (プライベートスペース)

2階には、フーケー家のプライベートスペースが再現されています。寝室や書斎など、より intimate な空間ですが、装飾の質は劣りません。ここで、フーケーの生活感や、当時の貴族の日常の一コマを想像することができます。窓からは庭園の異なる角度からの眺めが得られ、建築と庭園の統合性が理解できます。ガイド付きツアーでは、これらの部屋の詳細な解説を受けることができます。

アクセシビリティ

ファミリー向け

家族向けコース、エンターテインメント、トレジャーハンティングゲーム、休憩スペースをご用意しています。

オーディオガイド

フランス語, 英語, スペイン語



必見スポット

選 択

必見の芸術的傑作リスト

01 ANDRÉ LE NÔTRE 庭園

大運河 (Grand Canal)

アンクイユ川を変換して作られたこの大運河は、庭園の中心的要素です。透視図法の絶頂であり、水面は空を映し出し、無限の広がりを感じさせます。夕暮れ時の金色の反射は特に美しく、写真撮影のベストスポットです。

💡 この運河は元々自然の水路でしたが、ル・ノートルの創意工夫により、景観の一部として完全に統合されました。自然の変容の好例です。

02 LOUIS LE VAU 城内 1階

大理石の階段ホール

城の中心にあるこのホールは、大理石の柱と装飾で彩られています。大理石の輝きは、訪れる者を圧倒し、フーケの富と権力を象徴しています。階段を上るにつれて、光の変化が空間にドラマチックな効果をもたらします。

💡 このホールのデザインは、ヴェルサイユ宮殿の階段ホールの直接のモデルとなりました。建築的影響は計り知れません。

03 CHARLES LE BRUN 城内 1階

アポロの間

ル・ブランによる天井画が描かれたこの部屋は、太陽神アポロの物語を描いています。神話的表現を通じて、ルイ14世との類似性を暗示し、政治的な意図が含まれています。色彩の豊かさと構図の巧みさは、バロック絵画の精華です。

💡 フーケはこの部屋で、自分こそが太陽王であると示唆しようとしたと言われています。野心の象徴です。

04 CHARLES LE BRUN 城内 1階

戦勝の間

戦争と平和のテーマを描いたこの部屋は、ル・ブランの力作です。英雄譚が壁面と天井に展開され、視覚的な饗宴を提供します。動的な構図と鮮やかな色彩が、訪れる者の心を掴みます。

💡 この部屋の装飾は、ルイ14世の軍事的成功を称賛するためのものでしたが、フーケの忠誠心を示す手段でもありました。政治的メッセージです。

05 ANDRÉ LE NÔTRE 庭園

冠のパーテル

城の前に広がるこの花壇は、幾何学的なデザインの代表例です。対称性と秩序が追求され、人工的な美しさが際立ちます。季節ごとに変わる花の色が、庭園に生命を与えます。

💡 このパーテルは、当初非対称でしたが、後に対称的に改造されました。デザインの進化を示しています。

06 ANDRÉ LE NÔTRE 庭園

噴水と小運河

庭園内には複数の噴水と小運河があり、水の音と動きが空間に活力を与えます。水の演出は、庭園の重要な要素であり、視覚的および聴覚的な楽しを提供します。特に午後の日差しの中では、水滴が虹を描きます。

💡 これらの噴水は、複雑な配管システムによって駆動されていました。技術的快挙です。

07 LOUIS LE VAU / CHARLES LE BRUN 城内 2階

フーケの寝室

フーケ夫妻の寝室は、よりプライベートな雰囲気を持っていますが、装飾は豪華です。日常生活の痕跡が残されており、歴史的な人物に近い存在を感じることができます。家具や調度品は、当時の生活を再現しています。

💡 フーケはこの部屋で、多くの夜を過ごしましたが、その多くは不安と恐怖に満ちていたと言われています。悲劇的前夜です。

08 ANDRÉ LE NÔTRE 庭園

カスケード (滝)

庭園の奥にあるこの滝は、自然の力強さを人工的に再現したものです。ダイナミックな水の流れは、庭園の静けさと対照的で、視覚的なアクセントとなります。滝の音が、周囲の静寂を強調します。

💡 この滝の建設には、多大な労力と時間がかかりました。工事の難易度は極めて高かったです。

アドバイス

完璧な訪問のためのアドバイス

TIMING

開場と同時に到着し、混雑を避けて庭園と城を楽しみましょう。朝日は大運河の透視図法を引き立てます。

PARCOURS

城内見学を終えた後、庭園コースを歩くことをお勧めします。夕暮れ時の柔らかい光が庭園を美しくします。

PAUSE

城内にはレストランがないため、敷地外で食事休憩を取るか、訪問前にメラン周辺のオプションを確認してください。

AUDIOGUIDE

オーディオガイドは、フーケと三人の天才についての詳細な情報を提供し、没入型体験を強化します。

BILLET

特別イベント（キャンドルナイトなど）にはオンライン事前予約が必須です。夏場はすぐに埋まります。

PHOTO

17:30～18:30の間、大運河の水面の金色の反射と歩道のシルエットを捉えるために写真を撮ってください。

ENFANTS

家族向けコースやトレジャーハンティングゲームを利用し、子供たちが楽しく歴史を学べるようにしてください。

CONFORT

庭園は広いため、歩きやすい靴を履いてください。天候に応じて、傘または日焼け止めを忘れずに。



よくある質問

よくある質問

ボー＝ル＝ヴィコンテ城のチケットをどのように予約しますか？

予約はボー＝ル＝ヴィコンテの公式サイトでオンラインで行います。「グランド・シエクルの再会」などの特別イベントには必須です。標準的な見学の場合、待ち時間を避けるため、ハイシーズン（7月～8月、週末）には強く推奨されます。団体割引チケットや特別割引チケットは要相談です。

ボー＝ル＝ヴィコンテに団体割引や特別割引のチケットはありますか？

はい、団体料金（10名以上）および割引料金（6～17歳の子供、学生、シニア）をご用意しています。詳細な条件は公式サイトでご確認ください。フォンテーヌブローやヴェルサイユなど他の施設との組み合わせパッケージが提供される場合もあります。

イベントには事前に予約する必要がありますか？

はい、「グランド・シエクルの再会」や「キャンドルナイト」などのイベントへのオンライン予約は必須です。これらのイベントは定員制限があり、特に夏や学校休暇期間中はチケットがすぐに売り切れます。

城に入らずに庭園だけのチケットを予約できますか？

はい、庭園専用の別チケットをご用意しています。これはアンドレ・レノートルによって設計された公園と庭園へのアクセスが可能ですが、城内への入場は含まれません。風景愛好家や、ボー＝ル＝ヴィコンテ領地を軽く訪れたい方にとって理想的なオプションです。

ボー＝ル＝ヴィコンテ城を訪れるベストな時期是什么时候？

ベストな時期は早朝（開門時）または夜間（キャンドルナイトのため）です。早朝なら混雑を避け、落ち着いた雰囲気を楽しむことができます。夜間は、ろうそくの照明が魔法のような雰囲気を醸し出し、特に大運河付近ではその美しさが増します。

ご存知ですか？

エピソード & トリビア

ヴェルサイユのモデル

ボー＝ル＝ヴィコンテ城は、ルイ14世がヴェルサイユ宮殿を建設する際の直接的なモデルとなりました。建築的影響は計り知れず、フランス古典主義の標準を確立しました。

最大の私有地

1875年の購入以来、この敷地はフランスで歴史的建造物として登録されている最大の私有地です。ソミエ家の尽力により、その完全性が保たれています。

フーケの逮捕

開業後間もなくフーケは逮捕され、領地は没収されました。この事件は、彼の夢の終焉を意味しましたが、城自体は生き残りました。政治的悲劇です。

自然の変容

敷地内の川は、公園のために大運河に変えられました。これはル・ノートルの創意工夫を示しており、景観設計の革新です。

博物館 周辺

マンシー周辺には、ボー＝ル・ヴィコンテ城の訪問をさらに豊かにする魅力的なスポットがあります。まずはメーロンのサン＝エティエンヌ大聖堂。11世紀のゴシック様式を持つこの教会は、見事なファサードと威厳ある鐘楼が特徴で、歴史的な礼拝堂として静謐な時間を提供します。次に、フォンテーヌブロー城。世界遺産に登録されたこの王立城は、城から車で30分の距離にあります。1,500の芸術品とフランス式庭園を備え、複合訪問に最適です。また、土曜日の朝にはマンシー市場が活気づきます。新鮮な食材や地元の職人製品が揃い、セーヌ＝エ＝マルヌ県の味覚を発見するための欠かせないスポットです。最後に、ラ・クロワヌ公園でのピクニックもおすすめです。面積100ヘクタールの緑豊かな空間で、散歩やリラククスを楽しめます。



ボー＝ル・ヴィコンテ城を訪れることは、単なる観光ではありません。それは歴史への旅であり、芸術への礼拝です。フーケの夢と挫折、そしてソミエ家の救済が織りなす物語に触れながら、あなたはフランス黄金時代の心臓部を感じ取ることでしょう。夕暮れの光が大運河を染めるとき、その美しさは言葉に尽くせません。ぜひ、この唯一無二の瞬間を肌で感じてみてください。